

## ○スピオルトレスピマット [外]

【重要度】★★ 【一般製剤名】チオトロピウム臭化物水和物/オロダテロール塩酸塩 Tiotropium Bromide Hydrate/Olodaterol Hydrochloride) 【分類】吸入気管支拡張剤 [LAMA+LABA]

【単位】○28吸入本, △60吸入本

【常用量】1回2吸入, 1日1回吸入 [5 $\mu$ g+5 $\mu$ gで, これが最大量]

【用法】1日1回 [できるだけ同じ時間帯に吸入]

【透析患者への投与方法】設定されていないがチオトロピウムの血中濃度上昇に注意 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】Ccr 50mL/min 以下: チオトロピウムの血中濃度上昇のため慎重投与 (1) チオトロピウムの AUC (0-4) は Ccr 50mL/min 以下の患者で健康成人の 1.82 倍 (1)

オロダテロールの AUC (0-4) は Ccr 30mL/min 未満で健康成人の 1.4 倍 (1)

オロダテロールの PK は腎機能低下の影響をほとんど受けない (Kunz C, et al: Int J Chron Obstruct Pulmon Dis 11: 585-95, 2016 PMID: 27051282)

【特徴】LABA+LAMA の配合剤. COPD の維持療法に用いる.

【主な副作用・毒性】心不全, イレウス, アナフィラキシー, 閉塞隅角緑内障, 眼圧上昇, 霧視, めまい, 皮膚症状, 味覚異常, 口渇, 便秘, 脱水, 動悸, 高血圧, 発声障害, 咽頭炎, 副鼻腔炎, 尿閉, 関節痛など

【安全性に関する情報】過度の使用により不整脈, 心停止等の重篤な副作用が発現する危険性がある (1) QT を延長させる (1) 痙攣, 血糖値上昇, 甲状腺機能亢進症の症状悪化, 尿閉などに注意 (1)

【F】チオトロピウム 33%, オロダテロール約 30% (1)

【tmax】チオトロピウム 5min, オロダテロール 10min (1)

【代謝】チオトロピウムはごく一部が代謝され, CYP2D6, 3A4 がごくわずかに関与. オロダテロールは主にグルクロン酸結合及び O-脱メチル化により代謝 (1) いずれも代謝物の活性は低い (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率: チオトロピウム 74%, オロダテロール 19% [iv] (1) オロダテロールは P-gp, OAT1, OAT3 及び OCT1 の基質 (1)

【CL】チオトロピウム 880mL/min [iv], オロダテロール 872mL/min [iv] (1)

【t1/2】

【蛋白結合率】チオトロピウム 72%, オロダテロール約 60% (1)

【Vd】チオトロピウム 32L/kg [iv], オロダテロール 1110L/man [iv] (1)

【MW】チオトロピウム臭化物水和物 490.43, オロダテロール塩酸塩 422.90

【透析性】資料なし (1) ほとんど除去されないとと思われる (5)

【OW 係数】

【相互作用】QT 延長を有する薬剤, 交感神経刺激剤, 低 K 血症を誘発するとの併用注意 (1) オロダテロールは CYP2D6 を阻害する (1)

【更新日】20220224

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。